

平成30年度

## 第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日 時：平成30年5月29日（火） 14：00～16：40
- 場 所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師26名

### 目 的

- ・道徳教育の要である道徳の授業の特質について理解し、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につなぐ道徳の授業づくりのポイントについて研修を行い、具体的な指導方法を学ぶ。
- ・道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための方策について研修する。

### 講話 「庄原市道徳教育推進委員会の取組について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成



#### 【講話の概要】

- 「特別の教科 道徳」の実施に際し、道徳教育推進教師の役割が非常に重要になってくる。再度、校内の研修計画等を見直し、全職員で道徳教育を推進できる体制づくりをする必要がある。
- 庄原市道徳教育推進委員会研修会では、児童生徒が「考え、議論する」道徳授業が展開できるよう、また、道徳科における適切な評価ができるよう年4回の研修を実施する。

### サテライト研修講座

「児童生徒の『主体的・対話的で深い学び』につなぐ道徳の授業づくり」講座

広島県立教育センター 企画部 指導主事 中野 詠美子



#### 受講者より

- ・評価を行うためには、まずは、「考え、議論する」道徳の授業の充実が大切であることが分かった。
- ・校内においても、評価に係る研修が必要だと感じた。早速、校内研修に位置付けるよう考えていきたい。

#### 【サテライト研修講座の概要】

- 「考え、議論する」道徳授業とは、児童生徒が自分の考えを深め、互いの理解を深め合うことで、道徳的な課題に対する納得解を得ることである。
- 児童生徒の深い学びにつながる指導方法（例）として、次の3点が考えられる。
  - ①登場人物への自我関与が中心の学習
  - ②問題解決的な学習
  - ③道徳的行為に関する体験的な活動
- 道徳科において、児童生徒の自己内成長を見取る視点として次の2点が考えられる。
  - ① 多面的・多角的な見方へと発展させているか。
  - ② 道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めようとしているか。